

2 第1特集

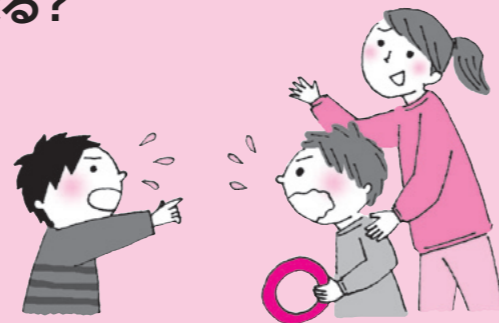
明日の保育につながる振り返り



2 インタビュー
子どもの「育ち」や「思い」を振り返ることで保育の質は高まっていく
聖徳大学大学院教職研究科教授 篠原孝子

8 ケーススタディ
どうすれば、次につながる振り返りになる？
よくありがちな振り返りをもとに考える

12 事例
同僚間での振り返りを充実させ、日々の保育の質を高める
きらきら星幼稚園（福岡県・私立）



14 データから見る幼児教育

3～5歳児家庭の読み聞かせの現状

17 Reader's Voice / 編集後記

「これからの幼児教育」ウェブサイトでは
全ての記事を無料でダウンロードできます

◎過去1年間の特集テーマ

- 2014年 秋号 保育の質を高める遊びの「理解」と「援助」
- 2014年 夏号 幼児教育に求められる「遊びの質」とは何か
- 2014年 春号 集団の中で「主体性」を育むために園ができること

※本誌は最新号、バックナンバー等の追加発送は行っていません。



<http://berd.benesse.jp/magazine/en/latest/> または で

※ここでご紹介した内容、デザインなどは変更になる場合があります。



はじめに

今年度も残り2カ月弱となりました。卒園・修了式の準備などを進める中で、次の1年に向けて今年度の振り返りを始めている園も多いのではないのでしょうか。

保育制度が新しくなる今、園現場では保育の質向上に向けて、日々の保育の振り返りや反省を行い、次の計画に生かしていくことがこれまで以上に求められています。

今号の特集では、一人ひとりの保育者が保育実践を評価し、明日の保育につなげていく「振り返り」のポイントを取り上げます。日々、忙しい中で、子どもの実態や思いをとらえる視点を事例をもとにご紹介します。

よりよい保育を目指していくために、日々の振り返りを少し意識するところから始めてみませんか。

「これからの幼児教育」編集長 橋村美穂子

